経営比較分析表（平成30年度決算）

佐賀県　小城市

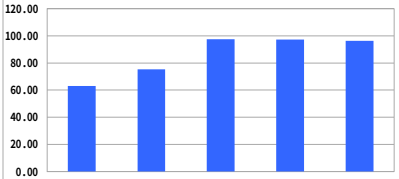
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	該当数値なし	23.24	87.02	2,970

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
45,405	95.81	473.91
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
10,509	2.50	4,203.60

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

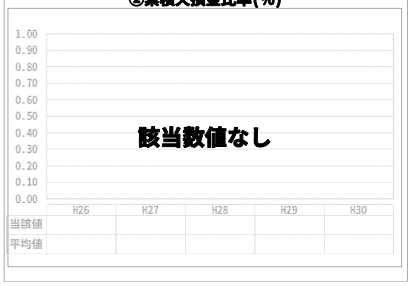
1．経営の健全性・効率性

①収益的収支比率(%)



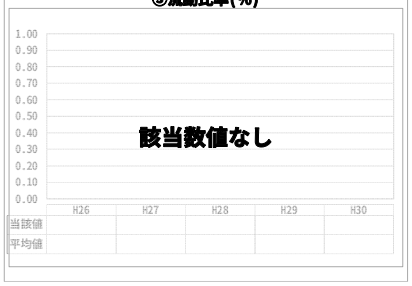
	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	63.07	75.36	97.68	97.37	96.47
平均値					

②累積欠損金比率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

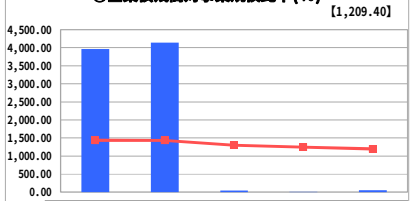
③流動比率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

④企業債残高対事業規模比率(%)

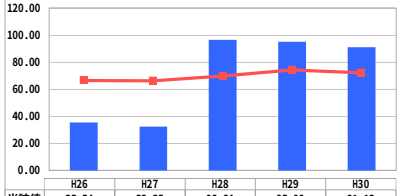
【1,209.40】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	3,969.73	4,148.60	49.63	0.81	53.55
平均値	1,436.00	1,434.89	1,298.91	1,243.71	1,194.15

⑤経費回収率(%)

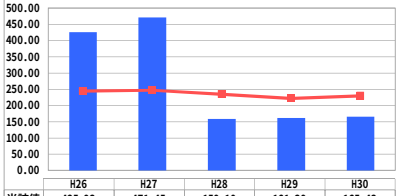
【74.48】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	35.54	32.35	96.64	95.08	91.13
平均値	66.56	66.22	69.87	74.30	72.26

⑥汚水処理原価(円)

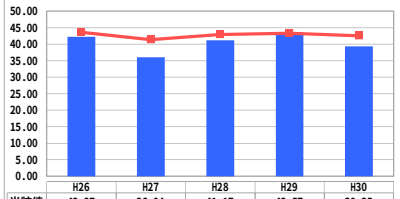
【219.46】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	425.93	471.45	159.10	161.39	165.43
平均値	244.29	246.72	234.96	221.81	230.02

⑦施設利用率(%)

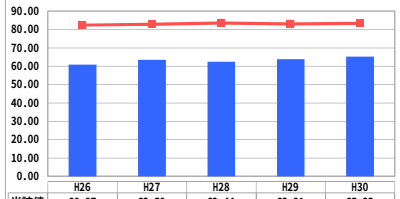
【42.82】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	42.27	36.04	41.17	43.57	39.35
平均値	43.58	41.35	42.90	43.36	42.56

⑧水洗化率(%)

【83.36】



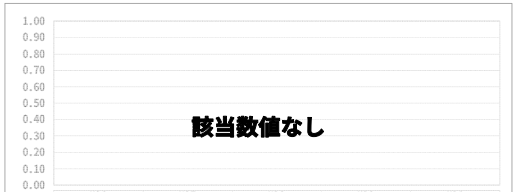
	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	60.87	63.50	62.44	63.81	65.23
平均値	82.35	82.90	83.50	83.06	83.32

2．老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

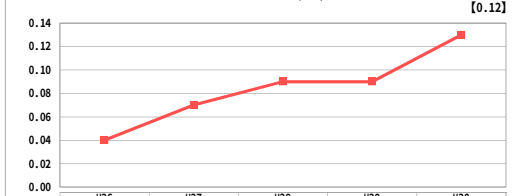
②管渠老朽化率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

③管渠改善率(%)

【0.12】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.04	0.07	0.09	0.09	0.13

※　法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

分析欄

1．経営の健全性・効率性について

当市の特定環境保全公共下水道について、収益的収支比率は改善傾向にあるが、100%を下回っており、経営改善を行う必要がある。

また、企業債残高対事業規模比率については、類似団体と比較して低い状態にあるが、今後未整備地区が多いことや処理場の増設により今後も多大な投資が見込まれるため、投資規模見直しの検討が必要である。

経費回収率については、類似団体より若干高く、汚水処理原価も低い状況である。

しかしながら、昨年度よりも経費回収率は落ち、汚水処理原価も上昇している。

施設利用率、水洗化率のいずれも類似団体より非効率な状況となっている。原因としては、農村部の高齢化により、接続率が上がらないことが原因と思われる。今後は接続率を向上させ使用料収入を増加させるなど経営改善を行う必要がある。

2．老朽化の状況について

特定環境保全公共下水道の供用開始は平成11年2月1日以降となっており、下水道管に法定耐用年数を超えるものはない。

全体総括

分析の結果、当市の課題は、整備効率性にあると思われる。

これは、農村部の高齢化や、農家住宅であるため排水設備工事代金が高額になっていることで接続率が伸び悩んでいるためである。今後、戸別訪問による接続促進などで改善していくとともに、下水道計画エリアの見直しを検討する必要がある。